



# あくしゅ

《発行・編集》  
座間市男女共同参画推進委員会  
座間市総合政策部 人権・男女共同参画課  
〒252-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号  
☎ 046 (252) 8087 (直)  
FAX 046 (252) 0220  
再生紙を使用しています。

## 座間のキラめきびと 2024

今回のテーマ

- ①ワークライフバランス
- ②ロールモデル

ペンネーム **陸上部S**

タイトル **みえない鎖**

コメント 日本人は昔から、男女を分けすぎているから、周りの目を気にせず生きていきたい。

～審査委員のコメント～  
現実をよく見ている作品に満場一致！

最優秀受賞者のコメント

とても光栄です。周りの人に感謝の気持ちを忘れずに、これからも成長し、さらなる挑戦に向かっていきたいです。この作品は、今の日本の現状について書いています。日本では日常的に男女で区別されることが多々ありますが、私は分けすぎではないかと考えました。人は誰かと違うところを見つけたら、その人を軽蔑していると思ったので、この作品に差別をやめ、他人を理解する心を持ってほしいという気持ちを込めました。

男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。  
(男女共同参画社会基本法第2条)

※コメントは応募者からのコメントを掲載しています。



最優秀賞

男女別 先入観にとらわれなく  
自分らしく生きていこう

優秀賞

あの頃の未来が今でふと思う  
信じてすすもう  
なりたいたい自分

ペンネーム **かんちゃん**

コメント 理想の自分ややりたいもの考えた時、20代、30代の頃はどんな自分になりたかったかなとふと思ひ出し、今の自分はなかなか悪くないと思えて、これからも周りに感謝しつつ、自分の信じた道を歩いていこうと思いました。

～審査委員のコメント～  
なりたいたい自分がロールモデルって素敵ですね！

受賞者のコメント

優秀賞ありがとうございます！大人になってから、「賞」と言うものをもらえるなんて、とても嬉しく思います。子どもの頃はたくさん夢があって、未来を想像するだけでキラメいていました。そして今の自分はというと、その夢はほとんど叶わず、子どもの頃に描いていた未来の自分とはかけはなれています。だけど、夢に向かって行動し、たくさんの人と出会い、泣いたり笑ったり、悩んだり迷ったり、時にはサボったりしながら、それでも一生懸命に生きてきた自分は、十分キラメいているのではないかと、私は思います。

優秀賞

子育ては皆(みんな)でやればいいじゃない  
お仕事も皆(みんな)で分ければいいじゃない

ペンネーム **ちとちゃん**

コメント 平日頃の思いがスッと言葉になりました。

～審査委員のコメント～  
ワークライフバランスをよく表していますね！

受賞者のコメント

仕事も子育ても介護も皆でシェアすればいいじゃない！という思いで応募しました。Well-beingな社会実現に向けてGO!GO!GO!です。

優秀賞

校長先生 市長さん  
女性の活躍  
娘見て  
「私もなりたいたいリーダーに」

ペンネーム **山さん**

コメント 女性がリーダーになる時代に何か一句詰めればと思い、この句を考えました。

～審査委員のコメント～  
女性も男性もリーダーになる時代ですね！

受賞者のコメント

まさか私が受賞！と驚きました。これからの時代、性差関係なく、それぞれの個性を活かして、皆がキラメいて過ごせることを願っています。

### 防災と男女共同参画

皆さんは日頃様々な活動に参加される機会があると思います。その中で運営等役職者の男女の比率や年齢層を考えたことはありますか。例として自治会長や年齢層は全国平均で60歳以上の方が約90%、その中の男女の比率では女性が長5.4%だということです。またPTAの活動において委員、係、役員は女性の割合が9割と言われています。ただこちらが会長職も地域差はあると思われ、男性が多いとの意見があるようです。サークル活動等で男性向き、女性向き、若い人向き、シニア向き等で男女比率や年齢層が変わることはよくあることだと思いますが、すべての市民が関わる防災(災害時)対策を決めるメンバーの話となるので、ぜひとも検討をお願いします。

今回は、男女共同参画の視点から座間市の防災がどのような状況なのか見てみたいと思います。

令和6年3月に発行された座間市地域防災計画によると、地域自治会を中心とした自主防災組織の育成指導という項目があり、「組織の育成に当たっては、女性の参画を促進することも、リーダーに複数の女性が含まれるよう女性リーダーの育成を図る」の記載から、女性の参画を推進していることが読み取れます。

また、この防災計画の中には災害時に開設される市内各避難所運営を担う避難所運営委員会のこと書かれています。この委員会は地域自治会・自主防災組織を主体とし、施設管理者や市職員等により組織され、そこが中心となり避難者と連携しながら円滑な避難所運営を目指すものというものです。さらに円滑な避難所運営を指針とする避難所運営ガイドラインによると、避難所では「男女比を均衡にした編成とし、男女共同参画の視点に基づいたフレイバシー対策の他、防犯対策等に有効なレイアウト作り

やルール作りに取り組みます」とあります。先日、座間市の危機管理課の担当者にお話しをお伺いしたところ、現在の運営委員は男性の比率が高いので、このルール作りのために今より多くの女性の参画を求めているとのことでした。実際の災害でも昨年1月、能登半島地震発生時に内閣府男女共同参画局(※)より、「地震による災害対応における男女共同参画の視点からの取組促進について」の依頼文が被災地の関係機関に出されました。その中に「女性の視点に立った避難所の開設・運営・環境整備に必要な取組事項をまとめた「避難所チェックシート」(※)を使い、各避難所の運営管理や避難者へのヒアリングを実施し、避難所の生活状況を確認の上、効率的な環境改善につなげて欲しい」との内容が含まれていました。この依頼文は、令和3年の7月にハーモニーホール座間で行われた「第18回あくしゅフォーラム」の講師でジェンダー・スペシャリストの大崎麻子氏の講演の中で、「男性と女性の異なるニーズへの対応ができていないか」、「女性や女の子の安全が確保されているか」、「男性と女性が平等に意思決定に参画できるか」という3つのポイントが担保されていることの重要性のお話と致すものだったと思います。

過去の災害において、女性が避難生活の中で苦しく辛い思いをしたと聞いています。これを繰り返さないために座間市の防災計画には多くの女性が参画することが必要ではないかと考えています。

皆さんも今一度、災害時に男女が平等に意思決定を行うことのできる環境を整える重要性を考えてみてはいかがでしょうか。

※内閣府男女共同参画局  
https://www.gender.go.jp/policy/saigai/notohanto/jishin.html



### 編集後記

今回のあくしゅのテーマのひとつ「防災」について、今の時代に必要なアプリをご案内します。能登半島地震の被災者に向けて、支援制度を探せるアプリ「災害支援ナビゲーター」と「支援みつもりヤドカリくん」です。これらのアプリは、ダウンロードやインストール不要で、無料で誰でも利用可能です。

「災害支援ナビゲーター」(https://civitech.sodegaura.org/note/)は、新潟県・石川県・富山県内の市町村に限られますが、「支援みつもりヤドカリくん」(https://shien-yadokari.netlify.app/)は全国に対応しており、検索で座間市と入力することも可能です。スマートフォンやPCのブラウザから簡単な質問に答えるだけで、被災者の方が自分の住んでいる自治体

において受けられる可能性が高い支援制度とその窓口が紹介されます。「支援みつもりヤドカリくん」は、被災関係以外の生活支援に関する制度について、自分が受けられそうな支援やその金額を調べることができます。検索可能な支援制度と窓口は主に国、県、市町村の支援制度と市町村の窓口です。



### 活動報告 令和6年度

『座間市男女共同参画推進委員会』会議  
①4月23日 ②5月31日 ③7月23日  
④8月6日 ⑤10月17日 ⑥11月25日  
⑦12月10日 ⑧1月14日

6月23日(日)～29日(土)  
『男女共同参画週間』  
市民サロンにおいて、男女共同参画の意識や考え方についてのチラシと啓発物品を配布

7月6日(土)  
『あくしゅフォーラム』の開催  
市民文化会館(ハーモニーホール座間)小ホール  
講演 『まん丸笑顔で生き生き参画』  
～落語で学ぶ「男女共同参画社会」～  
講師 林家 染二氏(落語家)

11月17日(日)  
座間市民ふるさとまつりで、男女共同参画に関する市民の皆さんへの意識啓発、キラめきびと応募作品の募集

令和7年3月15日(土)  
情報紙「あくしゅ」の発行

情報紙「あくしゅ」のバックナンバーはこちらから！  
座間市 男女共同参画 検索  
で、検索して下さい。



## あくしゅフォーラムの変遷

あくしゅフォーラムをご存じですか？

それは私たち座間市男女共同参画推進委員会が毎年、座間市とともに主催し、神奈川県と共催で開催している講演会です。男女共同参画週間に合わせて開催したのが始まりで、今では概ね6月〜7月のいずれかの土曜日に開催しています。男女共同参画の理解が少しでも広まるよう、毎年この時期に開催しています。昨年8月もハーモニーホール座間小ホールにて多くの方がご来場くださり、盛大に開催させていただきました。

元々は別の団体が開催していたものを平成23年から委員会が引き継いだ形です。当初は男女共同参画に知識のある方々をお招きしていましたが、最近ではもっと身近に男女共同参画の意義を感じていただけたらという、市民の皆様が親しんでいただけるような方々をお招きしています。

また、平成26年から私たちが企画していた「イイ男フォトコンテスト」の表彰式も同時開催していました。現在は「座間のキラめきびと」内容も新たにし、好評を得ています。

この「座間のキラめきびと」は毎年お題を変えて市民の皆様から写真や川柳、短文など、その年のお題にあった作品を応募していただいています。

「イイ男フォトコンテスト」の時もそうでしたが、「座間のキラめきびと」の作品もとても素晴らしいものばかりです。

りで、市民の方々のセンスに驚嘆するばかりです。

昨年のお題は「ワークライフバランス」と「ロールモデル」でした。「ワークライフバランス」は応募者ご自身の仕事と家事や自分の時間の使い方、配分を、「ロールモデル」は憧れるものや成りたい自分を、どちらのお題も文字や写真で表現していただきました。

こちらでも沢山ご応募いただき、素晴らしい作品ばかりで審査も難航しましたが、中でも優秀な作品は今号の表紙を飾っていますので、ご覧ください。

実際の表彰式には「ざまりん」も毎年、駆けつけてくれ、和やかな雰囲気の中、入賞者には市長からは賞状を委員長からは副賞をお渡ししています。

表彰後には入賞者、市長、委員長、ざまりんで写真撮影も行い、後日データをあ渡ししており、ご好評いただいております。

## 第21回あくしゅフォーラム 開催報告

令和6年7月6日(土)に、座間市と座間市男女共同参画推進委員会が主催する「第21回あくしゅフォーラム」が開催されました。

### 講師に落語家の林家染二さん

講演会については、今回は、講師に落語家の林家染二さんをお招きし、『まん丸笑顔で生き生き参画』落

語で学ぶ「男女共同参画社会」と題して、ご講演と落語を行っていただきました。男女共同参画を難しく考えるのではなく、落語を通じて、楽しみながら、その考えるきっかけになってもうえればとの思いから、このような企画に至りました。

### 落語家さんらしい登壇から

落語家さんらしい、登壇しての話し初めのところから、ご紹介していきます。

「えー、ありがとうございます。登壇するなり、皆さんの拍手を頂戴いたしました。こんなにあくしゅフォーラムの拍手をもらいましたのは、もう、生まれて初めてでございます。」

「座間市は本当に素晴らしいところでございます。私、落語家になりましたが、座間市の皆様の前でございまして今年で丸四十年でございます。座間市の皆様の前でございましてありがとうございます。小っちゃい頃からの夢でした。えー、今日、夢叶いまして喜んでおります。」

「私、今日参りまして最初に座間水をいただきましたけど、おいしいです。大阪ではよく六甲の水とか言いますが、もう、座間水が世界最高だと思つた次第でございます。」

このように感じ、座間市のことを話を織り込みながら、冒頭から、笑いで会場を包み、そして、本題に入られました。

### 『参加』と『参画』の違い

「はい、みんなで行きましょうと、

単に集まりに加わることが『参加』で、『参画』は、物事の計画や決定の段階から参加して対等なパートナーとして意見を出し合い責任を分かち合うことですね。ですから、男女共同参画は、『参加』ではなく『参画』であるわけです。」

### 落語の世界はジェンダーレス

「落語というのは、江戸時代にできたものでございまして、男尊女卑、男の人が偉くて、女の人は偉くないんだという時代でしたが、落語の中では、男の人も女の人もお侍さんもお百姓さんも皆同じように笑いで包んでいくのが一番良いところでございます。現在では、落語家は入門するときに、男性、女性、年齢、学歴、国籍、全く関係ございません。女性の落語家もたくさんいらっしゃいます。」

### 演歌の歌詞の中では

「演歌の歌詞の中では、女性は大変に虐げられていますね。女性は堪えて忍ぶという風に、ずっとなっていました。そういうように、皆が捉えていたような時期があったということでもあります。」

### 教育の大切さ

「私は、海外19か国で落語を行って参りましたが、ペルーに行きましたときに、小っちゃい子が新聞を売っている、インカコーラを売っている。

ストリートチルドレンですね。国連で取り組んでいます。彼らは学校に行っていない。字が読めないから、津波が来ますよ、海抜ゼロメートルですから、山に逃げまじょうって、どこかに書いてあっても分かりません。教育が大事です。」

### 5050なハラスメント

「男女共同参画社会をすすめていく中においても、ハラスメントはいろいろありますね。パワハラであったり、セクハラであったり……」

「これには本当に社会全体が取り組んでいますが、例えば、終業時間の5時になって、「これから彼とデート?」と訊くだけで、これはもうセクハラです。何しよつと勝手じゃないのということになります。女性が、飯に、お尻ポリポリ、かゆいこともありますよね。『お尻かゆいの?』と訊くと、これもセクハラ発言です。」

「学校の先生が、先生という立場をもって、いろんな強要をすることがアカデミックハラスメントで、アカハラです。そして、カラハラって分かりますか?カラオケで歌うことを強要すること、『歌わないの?』がカラオケハラスメントです。マタハラっていうのもありますね。これは、マタニティハラスメントで、『あれ、

赤ちゃんはまだ?結婚何年目なの?」こういうことを訊くこともハラスメントです。人が不快に感じることはすべてハラスメントですね。」

### 自由に生きること

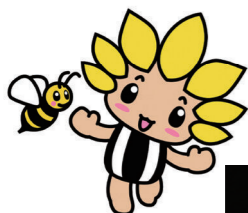
「男性であつても女性の、女性であつても男性の生き方をする。どの生き方をするかは、もうこれは自由であります。」

### 命あることの大切さ

「周りにはたくさんの方がいて、触れ合うことで人は生きていきます。声を掛けることでたくさん命を守ることが出来ます。命あること、朝、目が覚めることは何よりも素晴らしいことです。朝、目が覚めて、何よりも、今日このホールで林家染二に会えたことが大きな幸せです。ですから、朝、目が覚めることは素晴らしい。」

### 講演会のまとめとして

この紙面では紹介しきれないところもありますが、女性の社会進出、それに伴い、それぞれが考えるべきこと、そしてハラスメントについてなど、どれも男女共同参画社会に関わりのあることを、林家染二さんの人生観を交えてお話しいただきました。また、自己肯定感をもてない人、自分自身に対して優しくできない人は、ほかの人にも優しさを分けてあげられないこと、そして相手



はやしや 林家 染二 氏

の目線に、もしくは相手の立場になって行動することや会話をすることの大切さ、また、そのように考えることができるための教育がいかに大切かをお話しされました。更には、世界的に見ても、教育の大切さを、特に女性への教育の機会を提供することが、男女共同参画の原点にもつながるとのお話がありました。男女共同参画について、分かりやすく説明していただきました。

## 来場者アンケートから

質問 参加してどう思いましたか → 良かった 50 良くなかった 0 どちらともいえない 3

質問 講師または講演内容についてはどうでしたか (複数回答可)  
→ 分かりやすかった 32 親しみを感じた 25 役に立った 6 面白かった 12  
その他 3 ・親身になりかけた ・落語の方のお話でより心に届きました ・講演テーマに落語は若干違和感があった

質問 次回もあくしゅフォーラムに参加したいと思いますか → 思う 49 思わない 2

- 来場者の感想(一部)
- ・このテーマをもとにした落語は初めて聞きました。楽しかったです。
  - ・参加者に男性が少ないことが残念でした。落語は大変いいと思いました。
  - ・思っていた以上に楽しい時間でした。何度も「ZAMA」と言ってくださり感謝です。
  - ・落語が面白かった。要約筆記や手話があるのはとても良いと思った。
  - ・落語という文化に触れながら、古い文化と男女共同参画社会という組み合わせが面白い。演歌の中に人権が見えるのも面白い。
  - ・男女だけでなく、あらゆる性(ジェンダー)の生きやすい社会をめざす市であってほしい。男女だけでくる社会に時代から遅れている様に思えました。講演会は親しみやすく笑える楽しい講演でした。
  - ・染二さんの笑いの中に「男女共同参画社会」の意味や必要性を親しみ易く分かり易く楽しめました。
  - ・落語を通じて、わかりやすいお話で楽しく勉強させて頂きました。若い方の参加が少なく、残念に思いました。
  - ・声も大きく分かり易かった。染二さんは初めて見ましたが、嫌みなく感じ良かったです。応援してます。